

平成18年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議 東北海区海況予報

平成18年8月9日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2006年9～11月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°20'N～36°20'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3)色丹島南東沖合と常磐沖の暖水塊は北東に、三陸沖合の暖水塊は西に移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(39°N以北)で推移する。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°10'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2006年1月～2006年6月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、極めて南偏～やや南偏(35°10'N～36°10'N)で推移した。
- (2)1月に下北半島東方に分布していた暖水塊は2月以降北東に移動し、5月以降色丹島南東沖に停滞した。1月に常磐沖に分布していた暖水塊は、ほぼ停滞し、5月には、4月に常磐沖に認められた暖水塊と合体し、その後も停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、1月は平年並(41°N以南)であったが、2月にかなり南偏(37°50'N)し、3月～5月に再び平年並(38°20'N～39°20'N)となったものの、6月にはやや南偏(38°20'N)となった。
- (4)親潮第2分枝の南限は、5月まで平年並(38°40'N～40°N以南)であり、6月にはやや北偏(39°40'N)で推移した。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、5月まで平年並～やや強勢で推移し、6月にはやや弱勢となった。
- (6)東北海区の表面水温は、平年より低めで推移した。

(現況(2006年7月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、極めて南偏(35°10'N)である。
- (2)暖水塊が、色丹島南東沖合約180km*および常磐沖約250kmにある。三陸沖合約510kmに暖水塊が認められた。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(38°40'N)であり、連なる冷水がある。
- (4)親潮第2分枝の張り出しは、やや北偏(40°10'N)である。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°E)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による